

【人事異動の方針】

市の課題に対応するため、組織体制の見直しを行い、課の改編・再編、グループの設置・廃止を行いました（詳しくは、下記参照）。今回の異動は、退職者の補充のほか、「重要施策の推進」「業務の継続性」を重視しました。市民サービスへの的確な対応をしていくため、適材適所の配置を行いました。

■女性職員の登用

新たに部次長級に1人、課長級に2人、課長補佐に2人を登用しました。全体の課長補佐以上の女性職員は35人（108人中）となりました。

■国、県などの人事交流

農林水産省に1人、県後期高齢者医療広域連合に1人、嶺南広域行政組合に2人、岩手県釜石市への人的支援のために1人、職員を派遣しました。

組織

※部長級から課長補佐まで。太字は新任・異動。特命幹は部長級。次長は課長事務取扱。技幹は課長級。Gはグループリーダー

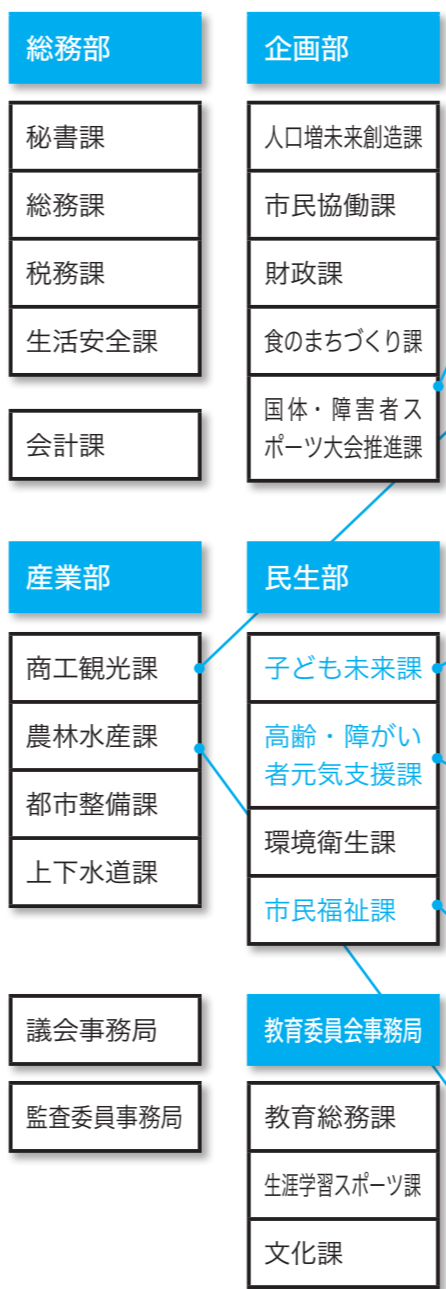
- 【総務部】 部長 伊須田尚
【秘書課】 特命幹 安田一雄
【総務課】 次長 檀野清隆
【生活安全課】 課長 岩瀧満彦
【企画部】 部長 刀禰幸広
【人口増未来創造課】 次長 東野克拓

【主な変更点など】

- 平成30年開催の福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会の開催に必要な人員を確保するため、初めて任期付職員を採用、配置しました。
日本遺産のインバウンド政策を観光と連携して実施するため、「人口増未来創造課」の「日本遺産推進グループ」を、「商工観光課」に移管し、「日本遺産活用グループ」に改めました。
子ども未来課 就学前の子ども・子育て支援関係の事務を統括し、市民にわかりやすいワンストップの窓口とするため、「社会福祉課」を改編し、「子ども未来課」を設置しました。
高齢・障がい者元気支援課 高齢者・障がい者世帯の増加に伴い、「健康長寿課」を「高齢・障がい者元気支援課」に改め、支援業務やセーフティネットの、より一層の充実を図ります。
市民福祉課 「市民課」を「市民福祉課」に改め、市民の健康づくり、生活困窮者の自立促進の充実を図ります。
六次産業推進のため、「農林水産課」の「農業振興・担い手育成グループ」を「農業振興・六次産業化グループ」に改め、「商工観光課」の「地域力活用・六次産業推進グループ」を廃止しました。



小浜市機構図（平成28年4月1日現在）



※青字の課は新設

- 【市民協働課】 課長 四方宏和
【食のまちづくり課】 課長 澤谷欣弘
【国体・障害者スポーツ大会推進課】 課長 田中正俊
【子ども未来課】 部長 松井俊樹
【高年齢・障がい者元気支援課】 課長 清水淳彦
【環境衛生課】 次長 岡正人
【市民福祉課】 課長 山本佳代子
【産業部】 部長 天谷祥直
【商工観光課】 次長 和久田和典
【都市整備課】 次長 岩本喜洋
【文化課】 課長 百田典子